

科目名	施術概論 3							年度	2026
英語科目名	Surgical operation outline 3							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	奈良和彦	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師（病院にて勤務）		
【科目の目的】 この科目で主に診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を学ぶことで、柔道整復師が臨床現場で注意を払わなければならない症状・所見の理解を深めることを目的とする。									
【科目の概要】 部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。									
【到達目標】 診察では、患者の訴える自覚症状（愁訴）を聴取することから始まり、患者の身体に現れている異常な他覚的所見（徴候）を眼でみたり、手で触ったりして観察する。ついで、診察を通じて患者の異常状態なり病名を判断する。この行為を診断という。診察から診断について学ぶことで柔道整復師本来の業務範囲に活用できることが目標である。									
【授業の注意点】 国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	呼吸疾患について完全に理解している。	呼吸疾患について大體理解している。	呼吸疾患について部分的に理解している。	呼吸疾患についての理解がやや不足している。	呼吸疾患について理解していない。				
到達目標 B	循環器疾患について完全に理解している。	循環器疾患について大體理解している。	循環器疾患について部分的に理解している。	循環器疾患についての理解がやや不足している。	循環器疾患について理解していない。				
到達目標 C	神経疾患について完全に理解している。	神経疾患について大體理解している。	神経疾患について部分的に理解している。	神経疾患についての理解がやや不足している。	神経疾患について理解していない。				
到達目標 D	筋疾患について完全に理解している。	筋疾患について大體理解している。	筋疾患について部分的に理解している。	筋疾患についての理解がやや不足している。	筋疾患について理解していない。				
到達目標 E	消化器疾患について完全に理解している。	消化器疾患について大體理解している。	消化器疾患について部分的に理解している。	消化器疾患についての理解がやや不足している。	消化器疾患について理解していない。				
【教科書】 教科書は「一般臨床医学解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		施術概論 3			年度	2026
英語表記		Surgical operation outline 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	呼吸器疾患①	主要徴候について理解する。	1 咳嗽とは	気道の異物を排除する生体防御反応を理解する。	3	
			2 喀痰とは	気道分泌物が過剰となり喀出されたものについて理解する。		
			3 呼吸困難とは	呼吸における空気飢餓感や不快感について理解する。		
2	呼吸器疾患②	呼吸器の各疾患について理解する。	1 かぜ症候群とは	ウイルス感染がほとんどであることを理解する。	3	
			2 インフルエンザとは	高熱、倦怠感など全身症状が強いのが特徴的であることを理解する。		
			3 肺炎とは	肺胞領域の急性炎症であることを理解する。		
3	循環器疾患①	主要徴候について理解する。	1 動悸とは	心拍数の増加や不整脈などで生じることを理解する。	3	
			2 失神発作とは	脳の血流が低下して一過性に意識を失うことを理解する。		
			3 心肥大とは	高血圧などで心臓壁が厚くなったり心不全などで心拡大したものを理解する。		
4	循環器疾患②	循環器の各疾患について理解する。	1 うっ血性心不全とは	末梢組織の酸素需要に見合う量の血液を心臓が拍出できない状態について理解する。	3	
			2 急性心筋梗塞とは	冠動脈の高度狭窄や閉塞により心筋が壊死に陥ることについて理解する。		
			3 僧帽弁狭窄症とは	僧帽弁が狭窄して左心房から左心室への血流が障害される疾患について理解する。		
5	循環器疾患③	高血圧症について理解する。	1 高血圧症の概説	脳血管障害、心不全、腎疾患などの原因であることを理解する。	3	
			2 高血圧症の診断	診察室での血圧が140/90mmHg以上であることを理解する。		
			3 高血圧症の治療	減塩、節酒、禁煙など生活習慣の改善が必要であることを理解する。		
6	神経疾患①	主要徴候について理解する。	1 筋力低下・麻痺とは	大脳障害によるものが脳梗塞の典型で反対側の片麻痺となることを理解する。	3	
			2 歩行障害とは	動揺性、鶏状、瘻性の各歩行などに分類されることを理解する。		
			3 不随意運動とは	自分の意志に寄らず生じる運動の総称であることを理解する。		
7	神経疾患②	神経系の各疾患について理解する。	1 脳血管障害とは	障害される血管が支配する脳の部位により種々の症状が出現することを理解する。	3	
			2 認知症とは	アルツハイマー型認知症が代表的な疾患であることを理解する。		
			3 運動ニューロン疾患とは	脊髄前角細胞の著明な脱落と錐体路変性を特徴とする疾患であることを理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 呼吸器疾患	咳嗽、喀痰、呼吸困難などの主要徴候について理解する。	3	
			2 循環器疾患	動悸、神経発作、心肥大などの主要徴候について理解する。		
			3 神経疾患	筋力低下・麻痺、歩行障害などの主要徴候について理解する。		
9	感染症①	感染性疾患について理解する。	1 成立する要因	感染源、感染ルート、易感受性宿主について理解する。	3	
			2 病原体の感染経路	空気感染、飛沫感染、接触感染などについて理解する。		
			3 日和見感染とは	易感染状態の患者に起こる感染症であることを理解する。		
10	感染症②	感染症の各疾患について理解する。	1 呼吸器感染症とは	上気道炎、気管支炎、肺炎などの分類について理解する。	3	
			2 尿路感染症とは	尿道炎、膀胱炎、尿管炎、腎盂腎炎などの分類について理解する。		
			3 腸管感染症とは	食物を介して感染する場合が多く食中毒とほぼ同義であることを理解する。		
11	消化器疾患①	主要徴候について理解する。	1 嘔吐とは	胃の内容物が急激に食道、口腔を経て排出されることを理解する。	3	
			2 吐血とは	消化管内に出血するとことで口腔から血液が排出されることを理解する。		
			3 黄疸とは	ビリルビンが血液中に増加することで皮膚や眼結膜が黄染することを理解する。		
12	消化器疾患①	消化器系の各疾患について理解する①	1 食道炎とは	種々の原因により食道粘膜に炎症が起こることを理解する。	3	
			2 食道癌とは	食道粘膜に発生する悪性腫瘍について理解する。		
			3 胃癌とは	胃粘膜上皮から発生する悪性腫瘍について理解する。		
13	消化器疾患②	消化器系の各疾患について理解する②	1 潰瘍性大腸炎とは	主として大腸の粘膜・粘膜下層をびまん性・連続性に侵す炎症性腸疾患であることを理解する。	3	
			2 クロウン病とは	消化管壁全層の炎症を起こす慢性炎症性肉芽腫疾患について理解する。		
			3 虚血性大腸炎とは	動脈硬化や循環障害により大腸の血行障害が起こり発症するものを理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 感染症の各疾患について	感染症を成立させる要因について理解する。	3	
			2 消化器疾患の主要徴候	悪心・嘔吐、腹痛、吐血・下血などについて理解する。		
			3 消化器系の各疾患	食道癌、胃癌、大腸癌、虫垂炎などについて理解する。		
15	施術概論3のまとめ	前期施術概論3全体の振り返り。	1 呼吸器疾患の主要徴候	咳嗽、喀痰、呼吸困難、ばち指、胸水などについて理解する。	3	
			2 循環器疾患の主要徴候	胸部不快感・胸痛、動悸、浮腫、心肥大などについて理解する。		
			3 消化器疾患の主要徴候	悪心・嘔吐、吐血・下血、黄疸などについて理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等